

利用学習計画書

平成25年6月17日

担当 第6学年 及川 正明

1 ねらい

自分たちの住む仙台市に残されている遺跡や遺物に触れたり、土器作り・石器作りなどの体験学習をしたりすることで、縄文時代の人々の生活の様子について具体的なイメージを持たせる。

2 評価

遺跡の見学や体験学習を通して、縄文時代の人々の生活の様子について具体的なイメージを持つことができたか。

3 学習活動について

- ・総合的な学習の時間「仙台の歴史を探ろう」の中の3時間、社会「縄文のむらから古墳のくにへ」の中の3時間
- ・社会科で学習している日本の歴史と関連させ、自分たちの身近な地域の歴史に関心を持ち、それらを大切にできる態度を育てたい。

4 事前指導（1時間）

縄文の森広場の概要、日程の説明、学習内容のガイダンス、遺跡見学の留意点など

5 当日の指導（活動）内容

（1）縄文の森広場

1）見学学習

復元住居、遺構表示等の野外展示、及び館内の展示見学を予定

（内容）：全体で館職員の説明を聞きながら学習（探検シート利用）

2）体験学習

石のアクセサリー作り（全員）

（2）地底の森ミュージアム

1）見学学習

・地下展示室解説付き見学

・1F展示室自由見学（学習ノート利用）

2）体験学習

石器作り（全員）

6 当日の交通手段 貸切バス

7 事後指導

感想文、新聞作りなどを予定

利用学習報告書

平成25年7月24日

担当 第6学年 及川 正明

1 事後指導について

(1) 実施日

平成25年6月26日(水) 3校時

6月28日(金) 6校時

7月2日(火) 3、4校時

7月4日(木) 3校時

(2) 主な内容

- ・社会科の授業で、前日行ってきたことを思い出しながら、縄文時代のことについて学習する。(学習ノートも使用) <1時間>
- ・総合的な学習の時間で、見学・体験学習をしてきたことをもとに、わかったこと・感想などを新聞にまとめる。 <4時間>

2 送付する資料

- ・児童の感想
- ・児童の作成資料 児童が作成した新聞(1枚、1名分)

